

同窓会から弁論部に激励金が授与されました [10月30日]



本日、11月12日（日）に茨城県立県民文化センターで開催される日本弁論連盟主催第62回文部科学大臣杯全国青年弁論大会に出場する弁論部に対して、同窓会より激励金が授与されました。

5月3日に愛知県名古屋市の東海学園大講堂で開催された内閣総理大臣賞 椎尾弁匡記念杯 第71回全国高等学校弁論大会への出場に続き、今回は「歴史をつなぐ」という演題で出場を決めた海野 貴之さん（2年）が、戦争と平和をテーマに弁論をおこないます。

この大会は、昭和31年（1956年）から現在まで続く伝統ある文部科学大臣杯（文部大臣杯）全国青年弁論大会です。松野文部科学大臣が「論理的思考力をもって、自らの考えを言葉で表現し、正しく相手に伝える、そして、聞き手は、様々なものの捉え方、考え方を理解することの大切さを学ぶことができる本大会」（日本弁論連盟 web サイトより）とべられているように、参加者にとって大変意義深い、貴重な経験になるものです。

授与式では、永井 紀夫 同窓会事務局長より、「5月に引き続き出場おめでとうございます。今の時勢に合う戦争と平和をテーマに、勇気と信念をもって、悔いの残らないよう十分に実力を発揮してきてください。同窓生一同健闘を祈っております。」と温かい励ましの言葉が贈られました。海野さんからは、「これまでの経験と練習の成果を発揮し、応援してくださる皆さんの期待に応えられるよう、精一杯頑張ってきます。」と力強い言葉が述べられました。直江校長からもお礼の言葉と「昨年の大分での大会ならびに5月の愛知での大会出場の経験を活かし、実力を存分に発揮してください。」との激励の言葉がべられました。

同窓会の皆様には、日ごろから温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。海野さんには、「歴史をつなぐ」弁論が多くの人々の心と心をつなぐよう活躍してきて欲しいと思います。皆さんも応援よろしく願いいたします。



